

## 第5学年 社会科学学習指導案

日 時 平成21年10月1日(木) 4校時  
児 童 5年児童 男13名 女7名 計20名  
場 所 一関市立涌津小学校 5年教室  
指導者 小野寺 英

1 単元名 工業生産を支える人々 中単元名 2 世界とつながる自動車

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領第5学年の目標(1)は「我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展に関心をもつようにする。」、(3)は「社会的事象を具体的に調査し、地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。」である。それを受け内容(2)では、「我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。」と示されている。本中単元は、内容(2)の「ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き」を受けて設定されている。

工業は、人々の暮らしと密接に関連し、工業製品は人々の暮らしを豊かにする為に開発されてきた。我が国では、機械工業の生産額が一番多い。その中でも自動車は生産額や輸出額において大きな割合を占め、我が国の重要な工業製品となっている。本単元では、自動車工業を事例として取り上げ、工業生産に従事している人々の工夫や努力に迫ることができるように構成されている。さらに、本中単元では、海外へ輸出される自動車のゆくえや海外で生産される自動車について追究する中で、運輸や貿易の働きに気付かせるとともに、これからの自動車づくりの課題をとらえさせることができるようになっている。

(2) 児童について

本学級の児童は、社会科の学習に集中して取り組んでいる。課題に対して最後まで粘り強く取り組む姿も多く見られる。反面、社会科の学習に対して苦手意識をもち、学習内容の理解に多くの時間がかかる児童も見られる。

5学年の1学期には、日本の農業・水産業について、グラフや地図などの資料の情報を読み取りながら学習を進めてきた。これまでの学習を通して、資料を読み取る力は徐々にではあるが向上してきている。しかし、資料から課題に沿った必要な情報を得たり、その情報をまとめて表現したりする力については、個人差が広がっている感は否めない。資料の内容が身近なものから離れ、また、資料が複数になるにつれて、苦手意識を強めてしまっている児童も見られる。資料から読み取ったことを自分の言葉で筋道立てて、表現することができる児童は少数で、特定の児童の考えに依存してしまう傾向がある。

したがって、本単元の学習においては、学習のねらいにあった資料を提示し、それを読み取る方法を支援しながら課題解決を実現していく力を身に付けさせていく必要があると考える。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたっては、児童がスムーズに学習活動に取り組むことができるように、全般に渡って以下の事項について工夫していく。

- ・「課題把握→予想→追究→交流→まとめ」という学習活動を展開していく。
- ・家庭学習と連動させて、授業の中で活用する資料の読み取りを課題として与え、資料から必要な情報を読み取る基本的な能力の定着を図っていく。
- ・重要語句についての意味の確認をしっかりと行い、それを掲示するなどして、児童の理解の助けとする。
- ・課題に対するまとめを、自分の言葉でノートにまとめさせていく。

以上のことを、繰り返し経験することにより、学習活動に対する意欲を高めるとともに、資料から必要な情報を読み取り、それをまとめて表現する力の向上を図っていきたい。

また、必要に応じて、課題を解決するのに適した、分かりやすい資料を提示し、児童の思考や理解を助けることができるようにしていきたい。

### 3 単元の目標

- 工業がさかんな地域の様子を具体的に調べ、工業生産に携わる人々が生産を高める工夫・努力をしていることや、日本の工業の現状と課題をとらえることができる。
- 工業生産に関する写真や地図、統計などの資料を収集・選択し、国民生活を支える工業生産の意味や、運輸・貿易のはたらきについて関連付けながら考えることができる。

### 4 単元の評価規準

#### 【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ・日本の工業生産について関心をもって意欲的に調べ、工業製品を生産する仕事の大切さを指摘しようとする。

#### 【社会的な思考・判断】

- ・工業生産に携わる人々の生産を高める工夫・努力や、工業生産と貿易・運輸のはたらきとの関わりについて考えることができる。

#### 【観察・資料活用の技能・表現】

- ・工業生産に関する写真や地図、統計などの資料を、目的に合わせて収集・選択し、的確に読み取ることができる。

#### 【社会的事象についての知識・理解】

- ・工業のさかんな地域の様子や、日本の工業の現状と課題がわかる。

### 5 単元の指導計画

工業生産を支える人々（25時間）

中・小単元名	時数	ねらい
オリエンテーション	1	○自動車の福祉車両の観察を通して、人々の暮らしを豊かにする工業について興味や関心をもち、調べてみようとする意欲をもつことができるようにする。
1 自動車工場をたずねて (1) 自動車づくりにはげむ人々	1 3 (7)	○自動車の組み立てとシートづくりの仕事について調べ、工場で働く人たちの工夫や努力、願いをとらえるとともに、自動車工場と関連工場との結びつきについて気付くことができるようにする。
(2) 自動車がとどくまで	(3)	○完成した自動車を運ぶ仕事について調べ、輸送に携わる人たちの工夫や努力、願いをとらえるとともに、工業生産を支える運輸のはたらきに気付くことができるようにする。
(3) これからの自動車づくり	(3)	○自動車に乗る人たちの願いについて調べ、「安全で、人や環境にやさしい」自動車づくりが進められていることに気付くことができるようにする。
★鉄のふるさとをたずねよう	1	○自動車をつくるための鉄の原料となる鉄鉱石について調べ、輸入に頼っている鉄鉱石の産地の様子をとらえることができるようにする。
2 世界とつながる自動車 (本時2/4)	4	○貿易による世界各国との結びつきについて調べ、その特色や問題をとらえることから、貿易の進め方について考えをもつことができるようにする。
3 工業の今と未来 (1) 日本の工業の特色	5 (3)	○工業のさかんな地域や、大工場と中小工場での生産の違いについて調べ、日本の工業の特色をとらえることができるようにする。
(2) これからの工業生産	(2)	○工業の発達と自分たちの暮らしの変化とつながりに気付き、これからの工業生産の進め方について考えをもつことができるようにする。
自動車すごろくをつくろう 回る絵本をつくろう	1	○これまでの学習をふり返り、自動車が生産されて自分たちのもつに届くまでの様子などを、すごろくや回る絵本にまとめることができるようにする。

	時	ねらい	学習活動	主な評価規準
自動車は世界へ	1	○日本の自動車の輸出がどのように行われているのかをつかむとともに、地球儀を使って、輸出国の位置や日本からの距離・方位を調べることができるようにする。	①自動車の輸出の方法を予想し合い、船長さんの話をもとに、自動車を外国へ輸送する仕事について調べる。 ②日本から見たアメリカ合衆国の方位や、シアトルまでの距離を、地図や地球儀で調べる。 ③地図と地球儀の特徴をまとめ、日本の自動車の主な輸出国の位置や、日本からの距離・方位を地球儀で調べる。	【技・表】地球儀を使って、世界各国の位置や日本からの距離・方位を調べることができる。 【知・理】地図と地球儀の違いや、それぞれの特徴が分かる。
世界に広がる自動車工場	2 (本時)	○日本の自動車の外国での生産の様子を調べ、貿易による世界各国との結び付きや協力について考えることができるようにする。	①自動車の生産台数や輸出台数の変化をグラフから読み取り、海外生産が増えてきたわけを考える。 ②日本の自動車が、海外のどこで、どのように生産されているかを調べる。 ③外国との関わりを考えながら、これからの日本の自動車生産について、自分なりの意見をもって話し合う。	【思・判】自動車を海外で生産することのよさをもとに、これからの自動車生産の進め方について考えることができる。 【技・表】写真や資料から、自動車を海外で生産することのよさを読み取ることができる。
グラフを比べてみると…	3	○グラフや地図をもとに、日本ではどんな物が、どのように輸入されたり、輸出されたりしているかを調べてつかむことができるようにする。	①これまでに学習した食料の輸入や、自動車の輸出についてふり返る。 ②日本全体の主な輸入品や輸出品と、その移り変わりについて調べる。 ③日本の輸入品・輸出品の特色や、主な貿易相手先について分かったことをまとめる。	【関・意・態】日本の貿易の特色や問題について関心をもって調べようとする。 【思・判】日本の貿易の問題に気付き、これからの貿易の進め方について考えることができる。 【技・表】グラフや地図から、主な輸出入品や貿易相手先、貿易額の推移などを読み取り、その特色をまとめることができる。
これからの貿易は？	4	○日本の貿易の特色や問題をまとめることを通して、これからの貿易の進め方について考えをもつことができるようにする。	①輸入品や輸出品がどのように輸送されているかを調べ、日本の貿易の特色についてまとめる。 ②貿易額の変化をグラフや資料から読み取り、日本の貿易の特色や問題について考える。 ③貿易の進め方について、自分なりの意見をもって話し合う。	【知・理】日本の貿易の特色や問題をとらえると同時に、自分たちの暮らしを支えている貿易の大切さが分かる。

## 7 本時の指導

### (1) 目標

- ・日本の自動車を海外で生産することのよさを、グラフや資料をもとに調べ、貿易による世界各国との結び付きや協力について考えることができる。

(2) 具体的評価規準

観点	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する児童への支援
【観察・資料活用の技能・表現】	写真や資料から、自動車を海外で生産することのよさを、根拠をはっきりさせて読み取ることができる。	写真や資料から、自動車を海外で生産することのよさを読み取ることができる。	写真や資料の中で、どこに着目すればよいのか具体的に助言する。
【社会的な思考・判断】	自動車を海外で生産することのよさをもとに、外国との関わり方に触れながら、これからの自動車生産の進め方について考えることができる。	自動車を海外で生産することのよさをもとに、これからの自動車生産の進め方について考えることができる。	つり合いのとれない貿易をしたらどうなるのか、外国の立場に立って考えるように助言する。

(3) 展開

過程	学習活動	*指導の留意点 ◆評価	資料等
課題把握  (5分)	1. 前時の学習を想起する。	* 日本の自動車は世界各国に輸出されていることを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(教) P 9 2 日本の自動車の生産台数と輸出台数の変化</li> <li>・(資) P 6 2 自動車の生産台数と輸出台数の変化</li> <li>・(資) P 6 3 自動車の現地生産台数と輸出台数の変化</li> </ul>
	2. 日本の自動車の国内生産台数・海外生産台数・輸出台数の変化を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国内生産・海外生産・輸出の言葉の意味を確認する。縦軸・横軸の単位を確認する。</li> <li>* 国内生産台数と輸出台数が1990年代に入り減少しているのに対し、海外生産台数が増加していることをおさえる。</li> </ul>	
	3. 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">自動車の海外生産がふえてきたのはなぜだろう。</div>		
課題追究	4. 海外生産がふえてきたわけを予想する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出に比べて手間と時間がかからない。</li> <li>・現地ですぐに販売することができる。</li> <li>・外国に運ぶお金がかからない。</li> <li>・工場を建設する広い土地がある。</li> <li>・働く人の数が多い。</li> <li>・自動車の材料がすぐ手に入る。</li> </ul> 5. 海外生産のよさについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・その国の多くの人たちが、工場で働くことができる。</li> <li>・その国の工場でつくった部品を使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 海外生産にはメリットがあることを知らせ、そのよさを考えるように確認する。</li> <li>* 予想を板書に位置付ける。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 資料を提示し、海外生産のよさを読みとることができるようにする。</li> <li>* 資料の中に、読み取る為の視点を示す。</li> <li>◆自動車を海外で生産することのよさを、資料をもとに読み取ることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(自) 外国の自動車工場の写真 現地工場の種類と従業員数 外国の自動車工場の分布図 (教) P 9 3 世界に広がる日本の自動車工場と、現地での生産台数</li> </ul>

